

## セット内容

ご使用になる前に、内容物をご確認ください。

- ・フレームパーツ (図は裏側からみたところ)
  - アングルフレーム
  - ストレートフレーム※1
- ・下敷きボード (白い厚紙)
- ・押し込みヘラ
- ・押さえ用ロープ
- ・ネジ (ワッシャー付) / ナット
- ・使い方説明書
- ・布※2

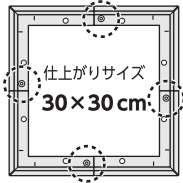
※1「布パネ<30×30>」には、ストレートフレームは入っていません。  
※2「布パネフレームセット」には、布は入っていません。

## 準備するもの

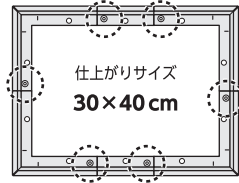
- ①アイロン・アイロン台・あて布
- ②定規またはメジャー
- ③しるし付けペン (後で消せるタイプ)
- ④布切はさみ (布を必要なサイズにカットします)
- ⑤プラスドライバー <2番> (フレームの組立に使用します)
- ⑥セロハンテープ
- ⑦はさみ (押さえ用ロープをカットします)
- ⑧布※ (「布パネフレームセット」には布は入っていませんのでご準備ください)

## <フレームとネジ留めの位置> ネジ留め箇所

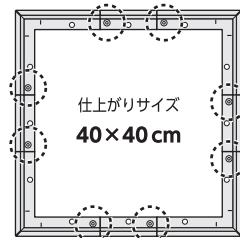
※図は裏側からみたところ



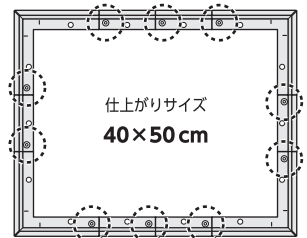
フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	なし



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	2 個



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	4 個



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	6 個

※別売の「布パネ延長フレーム (71-121)」を使えば、10 cm サイズを大きくできます。(最大 50×50 cm まで)

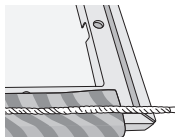
## 別途、好みの布を準備される時は、ご使用前に下記の方法で布をチェックしてください。

適している布	普通地～やや厚地 (10 オンスデニム、11 号帆布程度の厚さまで) で織目の詰まった布
適さない布	薄地、透けた布やレース地、厚地 (12 オンスデニム、10 号帆布、コーデュロイ等の分厚い布)、コーティング加工など加工布、織目が粗い布

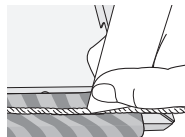
※布を張ったり、角に入れる時に破れることがあるので、アンティーク布等、弱い布は使用しないでください。

布端をフレームに巻き込んでロープをフレームの溝に押し込み、布が固定できるかチェックします。

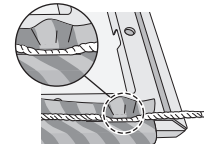
<布のチェック方法> ※溝の中に布とロープが押し込めない場合は、布が固定できないのでご使用いただけません。



①布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。



②押し込みヘラでロープを布と共にフレームの溝に押し込み、布端とロープが溝の中に入るかどうか確認します。(押し込みヘラの先をロープの縄目に沿って差し込み、下に押し込んでいくと入りやすいです)



## フレームを作る前に

### ■布をカットします

※柄の位置を合わせたい場合は、フレームを組み立ててから布をカットしてください。(→右記「柄の位置を合わせたい場合は…」参照)

①布はフレームに巻き込んで固定するため、フレームのサイズより縦横 10 cm ずつ大きいサイズが必要です。

※布のサイズは、「※必要な布のサイズ / ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。

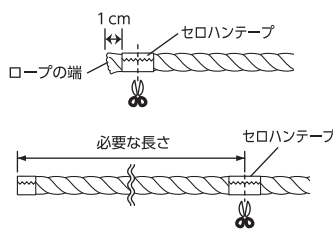
②布をカットしたら、アイロンをかけてシワを伸ばします。

### ■押さえ用ロープをカットします

①ロープの両端の端始末をします。  
ロープの端から 1 cm 内側にセロハンテープを巻き、テープの中央部分をはさみでカットします。

②フレームのサイズに応じて、ロープをカットします。  
使用中にロープの端がほどけないように、セロハンテープを巻いてからテープの中央部分をはさみでカットして使用します。

※ロープの長さとは本数は、「※必要な布のサイズ / ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。



★フレームを組み立てた後、フレームに付いている「ロープ位置の目印」を目安にカットすることもできます。

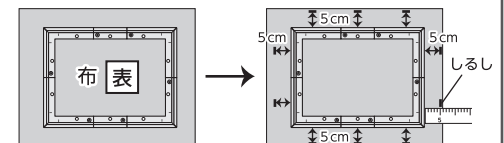
カットしたロープの残りは、捨てずに保管するとサイズ変更のときに便利です

## ※必要な布のサイズ/ロープの長さ・本数

フレームサイズ	布のサイズ (約)	ロープの長さ (約) × 本数
30×30 cm	40×40 cm	21 cm × 4 本
30×40 cm	40×50 cm	21 cm × 2 本 / 31 cm × 2 本
40×40 cm	50×50 cm	31 cm × 4 本
40×50 cm	50×60 cm	31 cm × 2 本 / 41 cm × 2 本

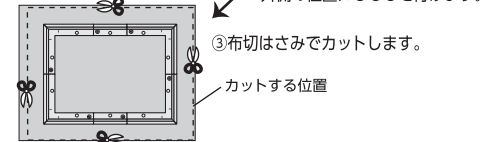
## 柄の位置を合わせたい場合は…

例) フレーム <30×40 cm> の場合 必要な布のサイズ: 約 40×50 cm



①組み立てたフレームを、表向けた布の上に置きます。

②柄の位置を確認したら、しるし付けペン等でフレームから 5 cm 外側の位置にしるしを付けます。



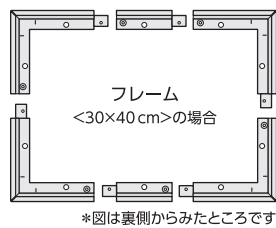
③布切はさみでカットします。

カットする位置

## ファブリックパネルの作り方

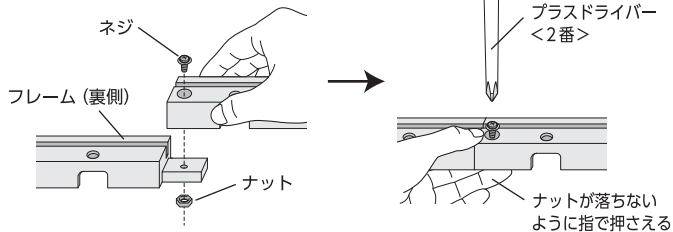
作業は平らな台の上でおこなってください

- 1** フレームパーツを組み立てます。  
プラスドライバー<2番>を使って、フレームパーツ全てをネジとナットで固定します。  
※ネジ留めの位置は、左記「フレームとネジ留めの位置」をご覧ください。

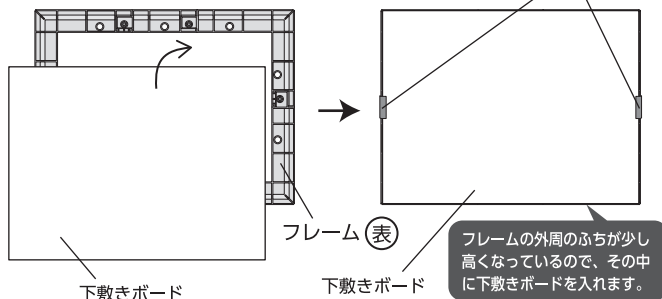


### 注意

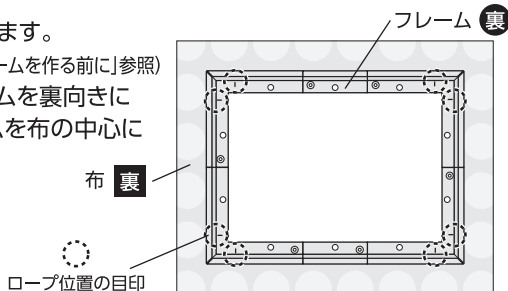
ネジは、ガタつきがない程度に締めてください。  
(締めすぎると、破損の原因になります)



- 2** フレームを表に向け、付属の下敷きボードを上置き、セロハンテープ等でフレームに貼り付けます。



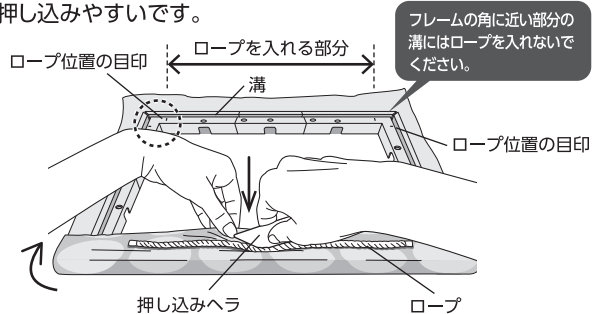
- 3** 布を準備します。  
(→左記「フレームを作る前に」参照)  
布とフレームを裏向きにし、フレームを布の中心にのせます。



- 4** 一辺の布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。(ロープ位置は「ロープ位置の目印」に合わせます)

押し込みヘラでロープを溝に軽く押し込みます。

★ロープの縄目に沿ってヘラ先を入れると押し込みやすいです。



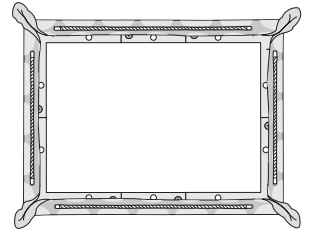
表に向け、布がゆがんでいないかを確認したら、向かい合った辺にも同様にロープを軽く押し込みます。

※布がゆがんでいる時は、ロープをはずして布を再度セットしてください。(→右記「布のはずし方」参照)

### 注意

布は引っ張りすぎないでください。柄がゆがんだり、フレームがゆがむおそれがあります。

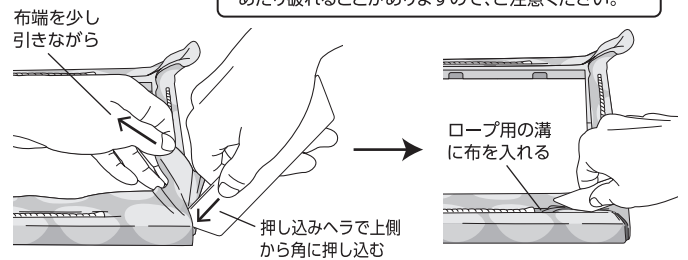
- 5** 全てのフレームの溝にロープを軽く押し込みます。  
表に向け、布がゆがんでいないかを確認したら、押し込みヘラで全てのロープをフレームの溝の奥までしっかり押し込みます。



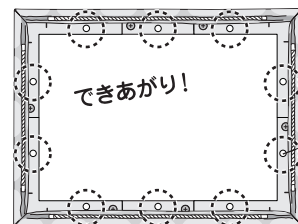
- 6** フレームのコーナーの処理をします。  
フレームの裏のコーナーに出ている布をつまみ上げ、押し込みヘラを使ってフレームの角にあいた隙間に上側から押し込みます。  
入りきらなかった布は、押し込みヘラでロープ用の溝に入れ込み、布を整えてください。

### 注意

布を強く押し込みすぎると、布がフレームの角の部分に当たり破れることがありますので、ご注意ください。



- 7** 壁に飾る場合は、フレームの裏にある穴を利用し、市販のフックやブッシュピン、ひも等を通して飾ります。

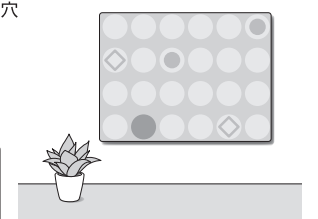


\*図は裏側からみたところ

### 注意

落下など強い衝撃が加わると、破損や変形のおそれがありますので、ご注意ください。

穴の大きさ…(直径)約8mm  
フレーム完成時の重さ…約500g  
(フレーム<40x50cm>/布が普通地の場合)



※押し込みヘラ、余ったロープは捨てずに保管しておいてください。  
(サイズ変更や、布を替える際に使います)

### 布のはずし方

フレームを裏向けて布端を引き、ロープをはずすと、布は簡単にはずれます。



※布を交換したい時も同様にしてはずします。

### フレームサイズを変更して使用する場合

・下敷きボード(下敷きボードには白い厚紙が適しています)

付属の下敷きボードをカットするか、フレームサイズに応じた下敷きボードをご準備ください。

・押さえ用ロープ

付属のロープをカットしてお使いください。

ロープが足りない場合は、市販のポリエステルロープ(5mm・三つ打)をお買い求めください。

フレームサイズ	下敷きボードのサイズ(約)
30×30 cm	29.5×29.5 cm
30×40 cm	29.5×39.5 cm
40×40 cm	39.5×39.5 cm
40×50 cm	39.5×49.5 cm
50×50 cm	49.5×49.5 cm

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上クロバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

**クロバー株式会社**

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

© 2017 CLOVER

011702